

見る、知る、伝える千葉

創作 狂言

鬼き来らい迎むかひ

第一部 古典袴狂言「しびり」

小笠原 匡
小笠原 弘晃

第二部 創作狂言「鬼来迎」

小笠原 匡
小笠原 弘晃
山下 浩一郎
泉 慎也
千葉大生 ワークショップ参加者
祝丸
平 浩之
加藤 充華
若菜の会

制作・演出 小笠原 匡
制作協力 千葉大学

千葉公演

平成24年12月23日(日・祝)
自由席2,000円(学生1,000円)

開演14時
(開場13時30分)



千葉県文化会館 小ホール

東総公演

平成24年12月24日(月・休)
自由席1,000円

開演14時
(開場13時30分)

千葉県東総文化会館 小ホール

<千葉・東総公演共通>

インターネット予約

<http://www.cbs.or.jp/>

千葉県文化会館 043-222-0201

千葉県東総文化会館 ... 0479-64-2001

<千葉公演>

千葉市民会館 043-224-2431

千葉市若葉文化ホール 043-237-1911

京葉銀行文化プラザ 043-202-1790

千葉市男女共同参画センター 043-209-8771

千葉市文化センター 043-224-8211

千葉市美浜文化ホール 043-270-5619

<東総公演>

サンモールインフォメーション 0479-63-9201

三川屋国道店 0479-63-7181

三川屋駅前店 0479-63-5681

大川楽器店 0479-62-2753

ラブシカワ 0479-62-0902

多田屋八日市場国道店 0479-73-5311

オフリヤ楽器銚子店 0479-22-0711

プレイガイド

●主催 公益財団法人 千葉県文化振興財団(TEL.043-222-0077) ●共催 公益財団法人 千葉市文化振興財団

●運営 見る、知る、伝える千葉～創作狂言～運営委員会

●助成 芸術文化振興基金

●後援 千葉県 横芝光町 銚子市教育委員会 旭市教育委員会 匝瑳市教育委員会 横芝光町教育委員会

●協力 ちば文化振興ネットワーク協議会

●チラシデザイン 千葉大学工学部2年 川野 次郎 ●チラシ背景画 木津 多真美



芸術文化振興基金助成事業

第一部	古典袴狂言「しびり」 小笠原 匡 小笠原 弘晃	使いに出るのがいやな太郎冠者は「足がしびれて動けない」と嘘をつきます。仮病を見抜いた主人は「ならば伯父からご馳走に呼ばれたが、連れていくことはできない」と言って冠者をだまします。それを聞いた冠者は「治った」といって立ち上がってしまいますが……。
第二部	創作狂言「鬼来迎」 小笠原 匡 小笠原 弘晃 山下 浩一郎 泉 慎也 祝丸 平 浩之 加藤 充華 若菜の会 千葉大生 ワークショップ参加者 作・演出 小笠原 匡 制作協力 千葉大学	娑婆の人間に信仰心が無くなったために、地獄はかつてないほどに大繁盛。地獄の恐ろしい有様を伝えようと語り部が登場し、地獄の絵解きを行います。さて、六道の辻では、生前悪事を重ねた亡者たちが責め苦を受けていました。自分たちの行いに懲りていない亡者たちのところに現われたのが、地蔵菩薩。慈悲深いと評判の地蔵菩薩の登場に、亡者たちは大喜びします。 ところが慈悲深いはずの地蔵菩薩は……。

おがさわら ただし

作・演出 **小笠原 匡** 和泉流狂言師



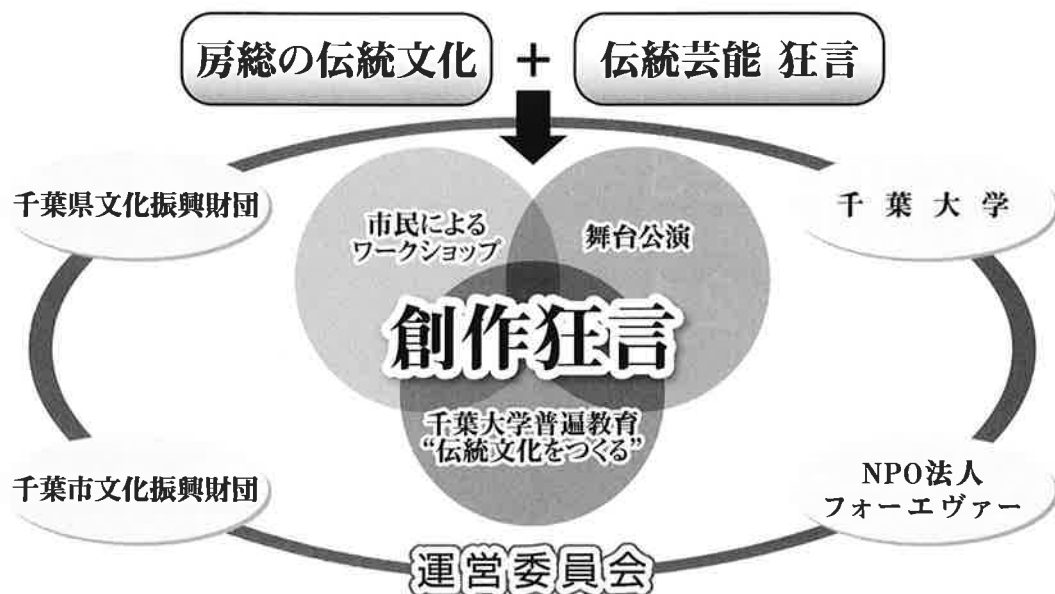
1965年東京生まれ。初世野村萬(芸団協会長・人間国宝・文化功労者・芸術院会員)、故8世野村万蔵、9世野村万蔵に師事。すでに狂言の大曲である「奈須与市話」「三番叟」「釣狐」「金岡」「花子」を抜く。また、新作狂言「鉢かづき」などの作・演出を手がける。さらに、能・狂言・文楽・落語・講談・和太鼓という6つのジャンルのコラボレーションをめざした「風流」を主宰して、「刀こぶ」「良忍さん」「石川五右衛門」などを作・演出する。愛知万博開催記念特別公演「ふるさとの四季」作・演出・主演。

2005年はNHK大河ドラマ「義経」、2006年はNHK金曜時代劇「出雲の阿国」の芸能指導を担当した。2007年には「狂言と鼓童のコラボレーション・蓬萊貴譚」を作・演出する。現在、萬狂言関西支部代表、重要無形文化財総合指定保持者、(社)日本能楽会会員、(公社)能楽協会会員、千葉大学客員教授、桃山学院大学客員教授、佐渡「鼓童」指導講師。

『見る、知る、伝える千葉～創作狂言～』とは

古くて新しい伝統文化への取り組み

房総に伝えられてきた民話や伝承をもとに、和泉流狂言師小笠原匡、千葉大学、公益財団法人千葉県文化振興財団、公益財団法人千葉市文化振興財団、市民が新たに創り上げてきた狂言の舞台です。千葉大学、県・市の文化振興財団、NPO法人フォーエヴァーで運営委員会をつくり運営を行っています。これまでに「千葉わらい」「千葉の羽衣」「鬼の来迎」「オトタチバナヒメ」「水戸黄門と藪しらず」という作品を創り、上演してきました。



〈千葉大学の取り組み〉

千葉大学の学生は普遍教育「伝統文化をつくる」の授業の中で、これまで先輩たちが創ってきた狂言の舞台制作について学び、その伝統を受け継ぎながら今年の台本作り・小道具作り、展示物の作成、狂言ワークショップへの参加などを行っています。